

2025年度日系社会研修 コース概要

N0.	21
所管センター	沖縄
分野	その他
研修コース名（日）	建築設計（意匠・構造及び設備）
受入人数	2
受入時期	上半期
来日日	2025年7月13日（日）
帰国日	2025年8月2日（土）
提案団体（日）	株式会社 具志堅建築設計事務所
提案団体 ウェブサイトアドレス	www.gushikena-e.net
研修員必要資格	大学の建築学科、建築に関連する学科、もしくは都市計画に類する学科の卒業生
研修員に必要な 実務経験年数	最終学歴修了後3年以上の実務経験
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N5
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	建築の設計・施工に関する、建物の機能性、安全性、適正な避難計画、耐震・環境対応策、これらに関する設備計画、また施工監理において基本的技術を習得する。
期待される成果 （習得する技術）	建築設計・施工監理に必要な技術を以下の研修内容で習得する。 1. 当社社員による各分野の講座にて、必要な知識を習得する。 2. 当社が抱える工事現場へ出向き、生の日本の工事技術・環境に触れる。 3. 当社が行った実績（施設）の見学、史跡や有名施設の視察を通し、沖縄の環境を土台とした建築の成り立ちを習得する。
研修計画 （内容）	上記の習得が期待される技術に関連しての講義、現場視察、実習等を当社の社員が講師または同行者として研修を実施する。 建築設計概論、建築基準法（日本・IBC）概論、建築用途の概論と法体系（建築・都市計画）、地震・災害/耐震技術等を組み入れる。
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	研修で技術的内容を習得し帰国すれば、日系企業等との連携で、現地での展開に貢献できると考え、また日系の建設系企業（日系県人会も含めて）等との連携により、当地への導入が実現すれば現地の建設系企業等に貢献することができ、またその建築設計や建設業関連会社の技術者の雇用等にも貢献できると考える。
応募希望者への特記事項	